

淡路(三原川等)地域総合治水推進計画 施策実施履歴(1/5)

資料-2

大項目	小項目	名称	計画の概要	実施主体	計画期間 ■・実績 ■				平成 26 年度当初予定	平成 27 年度目標	番号
					~H25	H26~H30	H31~H35	H36~	平成 26 年度実績	平成 27 年度実績	
1. 河川下水道対策											
(1) 河川対策 (ダムの運用・管理は除く)											
洲本川水系	千草川	洲本川合流点~上流端(L=2.4km) 河床掘削	県							・機能維持に努める	1-1
	初尾川	洲本川合流点~口堂橋付近(L=1.2km) 河床掘削、河道拡幅・築堤、橋梁架け替え	県						○H26 年度完了	—	1-2
	竹原川	猪鼻川合流点~東橋付近(L=0.4km) 河床掘削、橋梁架け替え	県								1-3
三原川水系	三原川	河口~御原橋(L=0.9km) 堤防整備・河床掘削	県								1-4
	三原川	倭文川合流点~松田橋上流(L=3.4km) 河道拡幅・堤防整備・河床掘削 橋梁架替・井堰改築	県								1-5
	大日川	新川合流点下流~牛内川合流点(L=5.5km) 河道拡幅・堤防整備・河床掘削 橋梁架替・井堰改築	県						○事業実施中	・継続実施	1-6
	馬乗捨川	大日川合流点~糸岡池付近(L=1.8km) 河道拡幅・堤防整備・河床掘削 橋梁架替・井堰改築	県								1-7
	山路川	大日川合流点~無名橋(L=0.8km) 河道拡幅・堤防整備・橋梁架替	県								1-8
	倭文川	三原川合流点~長田川合流点(L=2.6km) 堤防整備・河床掘削・橋梁架替	県						○事業実施中	・継続実施	1-9
	長田川	倭文川合流点~本四連絡道路(L=2.0km) 堤防整備・河床掘削 橋梁架替・井堰改築	県								1-10
	成相川	三原川合流点~中所橋上流(L=0.7km) 堤防整備・河床掘削・橋梁架替	県								1-11

淡路(三原川等)地域総合治水推進計画 施策実施履歴(2/5)

大項目	小項目	名称	計画の概要	実施主体	計画期間 ■ ・ 実績 ■				平成 26 年度当初予定	平成 27 年度目標	番号
					~H25	H26~H30	H31~H35	H36~	平成 26 年度実績	平成 27 年度実績	
三原川水系	三原川水系	入貫川排水機場	入貫川排水機場増強(H25. 6. 1 運転開始)	県	■				○H25 年度完了	—	1-12
		孫太川排水機場	孫太川排水機場更新	県		■			○更新に向けた調査検討を実施	・継続実施	1-13
		倭文川排水機場	倭文川排水機場更新	県		■			○更新に向けた調査検討を実施	・継続実施	1-14
	志筑川水系	志筑川	河口~中道橋(L=2.6km) 河道拡幅、河床掘削、パラペット等	県	■				○事業実施中	・継続実施	1-15
		宝珠川	志筑大橋~新中村橋(L=1.15km) 河道拡幅、河床掘削	県	■				○H26 年度完了	—	1-16
		放水路	志筑川 2.0km 地点~宝珠川 1.2km 地点 (L=0.78km) 新川設置	県 淡路市 (式典)	■				・平成 16 年台風 23 号規模の洪水に対して浸水被害を防止 ①志筑川放水路整備(750m)5 月末完成・6/25 完成式典(約 50 名出席、放水路の機能を周知、総合治水パンフレットも配布) ②台風 19 号豪雨における河川整備の効果を記者発表(11/20 洲本土木)・・・津名橋地点で 2.79m、八幡橋で 3.28m の水位低下効果を発揮し、浸水被害を回避 ③台風 19 号豪雨における河川整備の効果を記者発表(12/22 県庁河川整備課)・・・津名橋地点で 2.79m、八幡橋で 3.28m の水位低下効果を発揮し、浸水被害を回避	・機能維持に努める	1-17
	都志川	都志地区(L=0.7km)、鮎原天神地区(L=0.5km)、 鮎原南谷地区(L=0.8km) 河道掘削、堤防整備、河床掘削、 橋梁架替、井堰改築、樋門改築	県	■				○事業実施中	・継続実施	1-18	
	その他	適切な整備及び維持管理	県・市	■				・流下阻害を防ぐため、河川延長 800m を対象として整備及び整正 ○南あわじ市：流下阻害を防止するため、河川に堆積した土砂の撤去及び整正(津井川 300m、新川 150m、宝明寺川 200m、本庄川 250m)	・適切に整備及び維持管理を行う	1-19	
	(2) 下水道対策										
	洲本市	特定環境保全 公共下水道	66mm/hr 対応 全体計画 62ha、認可計画 13ha(進捗率 0%)	洲本市	■		(認可分)		○事業実施中	・継続実施(認可計画：H29 年度完了予定)	1-20
公共下水道		60.5mm/hr 対応 全体計画 688ha、認可計画 479ha(進捗率 62%)	洲本市	■		(認可分)		○事業実施中	・継続実施(認可計画：H27 年度完了予定)	1-21	
淡路市	特定環境保全 公共下水道	45mm/hr 対応 全体計画 18.54ha、認可計画 18.54ha(進捗率 100%)	淡路市					(○H22 年度完了)	—	1-22	
	公共下水道	45mm/hr 対応 全体計画 1,261ha、認可計画 139ha(進捗率 0%)	淡路市	■		(認可分)		○事業実施中	・継続実施(認可計画：H27 年度完了予定)	1-23	

淡路(三原川等)地域総合治水推進計画 施策実施履歴(3/5)

※平成26年度実績欄の【モデル地区】は、流域対策モデル地区の取組

大項目	小項目	名称	計画の概要	実施主体	計画期間 ■・実績 ■				平成26年度当初予定	平成27年度目標	番号
					～H25	H26～H30	H31～H35	H36～	平成26年度実績	平成27年度実績	
2. 流域対策 ～淡路地域に従前から備わっている貯留浸透機能の維持と土地の雨水貯留浸透機能の回復強化～											
(1) 調整池の設置及び保全											
	重要調整池の設置	1ha以上の開発に対し重要調整池を設置	開発者						○(指定実績なし)		2-1
	既存調整池の指定	特に必要と認める調整池を所有者の同意を得て指定	県						○(指定実績なし)		2-2
	調整池の維持管理	雨水流出抑制機能を維持するための適切な管理	所有者						○各管理者にて適宜対応	・適切な管理に努める	2-3
(2) 土地等の雨水貯留浸透機能の確保											
	ため池	洪水吐改良、池底掘削等	所有者 県市						・ため池の洪水調節機能の向上：ため池改修・水位低下用排水工設置・かいぼり実施 ①ため池を活用した雨水貯留の推進(ため池改修等のハード対策)：ため池改修(34箇所)で決壊を防止し洪水調節機能確保・水位低下用排水工設置(7箇所)で3万m ³ 分の容量を確保・かいぼり実施(10箇所)で容量を確保(事前水位低下とあわせ1,500万m ³ 貯留)【モデル地区】 ②ため池を活用した雨水貯留の推進(太郎池の活用検討)(調査、概略設計)により下流域の浸水被害軽減を検討【モデル地区】 ③ため池を活用した雨水貯留の推進(ため池保全条例改正)(ため池の多面的機能促進を目的に追加し、ため池貯留推進を後押しする：2月議会上程)	・県民局重要施策として、ため池貯留を推進 ・かいぼりも実施(10箇所) ・太郎池：H28工事着手に向けた詳細設計実施予定	2-4
	水田	堰板設置による水田貯留等	所有者 県						・田んぼの排水口に、洪水調整機能を付加した「田んぼダム用セキ板」を設置し、雨水貯留機能の向上を図るモデル地区を設け普及啓発を図る ・田んぼダムの普及啓発のため研修会を開催及び情報発信の支援 ①市西地区(南あわじ市26ha)で実証実験を実施・4種類のセキ板137枚を配布・1万3千m ³ の雨水貯留が可能【モデル地区】 ②田んぼダム推進のための研修会を3市で開催(9/2洲本市、9/4南あわじ市、9/10淡路市)、PRのぼり(50本)やパンフ配布(2000部)による情報発信【モデル地区】	・取り組みを全島に拡大・H29年度までに1000ha目標 ・積極的な普及啓発に努める	2-5
	学校・公園、その他大規模施設	校庭貯留、公園貯留等	所有者 洲本市						①城戸アグリ公園(1万2千m ²)の雨水貯留(大雨時に水門調整により雨水を約1万m ³ 貯留可能)【モデル地区】 ②洲本市新庁舎における雨水貯留槽の設置(植栽への散水に利用)【モデル地区】	・城戸アグリ公園、宇原中原公園の運用 ・基本設計に基づき洲本市新庁舎を建設	2-6
		透水性舗装、浸透側溝等の整備等	県 所有者						・県民局の駐車場を透水性アスファルト舗装に打ち換える。効果を検証するため雨水浸透実験を行う ①県庁舎駐車場(3.2m ²)における雨水貯留浸透実証実験中【モデル地区】 ②道路占用工事に伴う透水性舗装の推進(歩道舗装本復旧を透水性舗装で実施) ③道路修繕工事に伴う透水性舗装の推進((主)大谷鮎原神代線の修繕時に透水性舗装に打ち替え)【モデル地区】 ④林地開発における雨水一時貯留(太陽光発電用地)(18.2万m ³ 貯留可能)	・林地開発における雨水一時貯留(H27年6月完成予定) ・道路占業者に、透水性舗装により歩道舗装の本復旧を実施するよう協力を求める	2-7
	各戸貯留	雨水貯留タンクの設置等	所有者 洲本市						○雨水貯留施設設置助成14件(洲本市)(H25年度12件とあわせ2.6m ³ 貯留可能)【モデル地区】	・5年で最大400戸分助成	2-8
	雨水貯留浸透施設の指定	特に必要と認める施設を所有者の同意を得て指定	県						○(指定実績なし)	・適宜対応	2-9

淡路(三原川等)地域総合治水推進計画 施策実施履歴(4/5)

※平成26年度実績欄の【モデル地区】は、流域対策モデル地区の取組

大項目	小項目	名称	計画の概要	実施主体	計画期間■・実績■				平成26年度当初予定	平成27年度目標	番号
					～H25	H26～H30	H31～H35	H36～	平成26年度実績	平成27年度実績	
(3) 貯水施設の雨水貯留容量の確保											
	利水ダム	事前放流 等	管理者					○台風19号時に県管理の5多目的ダムに139万m ³ の雨水を一時貯留し下流で0.43mの水位低下効果を発揮【モデル地区】	・継続運用	2-10	
	ため池	ため池の安全管理と水位低下による雨水貯留容量の確保 等	管理者 県 市					・事前水位低下により、治水容量を確保 ・非灌漑期に大雨の前に貯留水を放流し、雨水貯留容量を確保 ・非灌漑期にため池管理者に貯留時期、貯留量の調整をお願いする ①台風11号及び19号前に水位低下呼びかけ、ため池の事前水位低下・貯留時期調整(大規模ため池・老朽ため池等:淡路市2池、南あわじ市)(計1,500万m ³ 貯留)【モデル地区】 ②ため池貯留効果の検討(貯留効果の高いため池のランク付け)【モデル地区】	・県民局重要施策として、ため池貯留を推進 ・貯留時期調整は通常年であれば調整可能	2-11	
	貯水施設の指定	特に必要と認める施設を所有者の同意を得て指定	県					○(指定実績なし)	・適宜対応	2-12	
(4) ポンプ施設との調整											
	ポンプ施設の指定	特に必要と認める施設を所有者の同意を得て指定	県					○(指定実績なし)	・適宜対応	2-13	
(5) 遊水機能の維持											
	遊水機能を有する地形の保全	地形の保全 開発抑制 等	所有者 県・市						・適宜対応	2-14	
(6) 森林の整備及び保全											
	新ひょうごの森づくり第2期対策の推進	森林管理100%作戦の実施、里山林の再生多様な担い手による森づくり活動の推進 等	県					○継続実施中	・継続実施	2-15	
	災害に強い森づくり第2期対策の推進	緊急防災林整備、里山防災林整備、針葉樹林と広葉樹林の混交林整備、野生動物育成林整備、住民参画型森林整備 等	県					○継続実施中	・継続実施	2-16	
	放置竹林対策	竹取物語シニアサポーター活動支援、森林復元整備、竹資源の利用推進 等	県・市					○継続実施中	・継続実施	2-17	
3. 減災対策 ～人命を守ることを第一に考え、避難対策、災害に強いまちづくり、災害にあわない暮らし方に取り組む～											
(1) 浸水が想定される区域の指定・住民の情報の把握											
	浸水想定区域図の作成・公表	浸水想定区域図の作成(更新)・公表・周知 等	県					○継続実施中	・継続実施	3-1	
	洪水ハザードマップの作成・配布	洪水ハザードマップの作成・配布・更新 等	洲本市 南あわじ市 淡路市					・県等からの最新データをもとに見直しをおこなう ○洪水ハザードマップの更新及び各戸配布(3市で計約2万部)	・随時更新・配布	3-2	
	災害を伝える	災害を風化させない取組として、洲本川ウォーク・洲本川レガッタ等のイベント継続 実績浸水深の公共施設への明示 等	洲本市 県 地域住民					・洲本川レガッタの開催 ・洲本川ウォークの開催 ①10/20「防災・減災まちづくりシンポジウム2014」の開催(450名参加)、復興のあゆみパンフ作成及び配布、上記にあわせた災害状況や復旧状況等のパネル展示(A1サイズ46枚)、ジオラマ模型による総合治水出前講座(60名参加、PRグッズ配布) ②9/7 洲本川レガッタの開催(出場者にPRグッズ150セット配布)、10/20 洲本川ウォークの開催(雨天中止)	・洲本川レガッタの開催 ・洲本川ウォークの開催	3-3	
(2) 浸水による被害の発生に係る情報の伝達											
	住民に対する防災情報の発信	雨量・水位情報の発信 防災行政無線・ケーブルテレビ・市ホームページ等を活用した情報発信 ひょうご防災ネットによる情報発信	県・市					○継続実施中	・継続実施	3-4	
	市に対する情報提供	フェニックス防災システムを通じた情報提供 防災情報の効率的な活用方法の検討	県・市					○継続実施中	・継続実施	3-5	

淡路(三原川等)地域総合治水推進計画 施策実施履歴(5/5)

大項目	小項目	名称	計画の概要	実施主体	計画期間 ■ ・実績 ■				平成 26 年度当初予定	平成 27 年度目標	番号
					~H25	H26~H30	H31~H35	H36~	平成 26 年度実績	平成 27 年度実績	
(3) 浸水による被害の軽減に関する学習											
	防災教育の推進	「学ぼう災教育」、「淡路地区防災教育推進連絡会議」等の取組の継続 等	県・市					<ul style="list-style-type: none"> 総合治水推進週間(5/15-21)に庁舎に懸垂幕、ポスターを掲示しPRを行う 建設業協会淡路支部通常総会資料としてパンフレットを配布 総合治水をPRするイベントでノベルティグッズを配布する ①総合治水推進週間(5/15-21)に淡路県民局・市庁舎(洲本市、南あわじ市、淡路市)に懸垂幕1枚、ポスター13枚を掲示しPR ②5/28建設業協会淡路支部通常総会における総合治水の広報(50名参加) ③ノベルティグッズの配布(ハンドブック・缶バッジ・ポケットティッシュ・シャープペンシル各674個、うちわ224枚、のぼり3枚) ④12/14県民PRブースによる広報(阪神タイガース現役選手による野球教室と連携し、総合治水の周知:450人参加・パネル10枚・パンフ30部・CGハザードマップ50部・クイズ90部など)	総合治水推進週間の継続	3-6	
	防災リーダーの育成	防災研修・講習会の実施 等	県					<ul style="list-style-type: none"> 南あわじ市松帆地区低地対策住民会議役員総会において県民局出前講座で「ダムはなし」及び「総合治水」についてPRを行う 防災連絡員研修会で淡路総合治水推進計画パンフレット配布する ①出前講座による総合治水PR((1)6/2淡路水産センター(防災連絡員研修会)、(2)6/24松帆活性化センター、(3)10/6安乎中学校、3回で計129名参加) ②12/18総合治水シンポジウムの開催(市町職員対象、流域対策の現状報告、各市の事例報告、パネルディスカッション)	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座 防災連絡員研修会 ひょうご防災リーダー講座 	3-7	
	防災マップの作成・支援	防災マップの作成 研修会の開催等支援 等	地域住民 県・市							3-8	
(4) 浸水による被害の軽減のための体制の整備											
	避難方法の検討・避難施設等への案内板等の整備	避難経路の設定、避難方法の検討 共助による避難誘導・危険箇所の解消 避難経路がわかりやすい案内板の設置 等	市 県・市 市							3-9	
	適切な水防体制の整備	情報収集・体制づくり 水防活動支援のための情報提供 等	市 県							3-10	
(5) 訓練の実施											
	訓練の実施	水防連絡会開催、防災演習・水防訓練の実施等	県・市等					○水防連絡会開催	・水防連絡会開催(毎年)	3-11	
(6) 建物等の耐水機能の確保											
	耐水機能の確保	施設の耐水機能の確保 耐水対策の必要性検討・実施 等	地域住民 県・市					①県総合庁舎(建て替え新庁舎)の耐水機能確保(電気設備上階配置) ②淡路広域消防新庁舎の耐水機能確保(電気設備屋上設置) ③洲本市新庁舎の耐水機能確保(電気設備屋上設置) ④南あわじ市新庁舎の耐水機能確保(電気設備屋上設置)	・計画に基づく新庁舎の建設	3-12	
	耐水施設の指定	特に必要と認める建物等を所有者の同意を得て指定	県					○(指定実績なし)	・適宜対応	3-13	
(7) 内水氾濫域での適正な土地利用											
	適正な土地利用	浸水被害を軽減するための方策の検討 等	市							3-14	
(8) 浸水による被害からの早期の生活の再建											
	共済制度の加入促進	フェニックス共済への加入促進 等	県・市					○推進計画策定後の1年間で加入率0.6%アップ(住宅再建共済制度)	・加入促進に努める	3-15	
	災害時応援体制の確立	平時からの応援協定の締結・民間事業者などとの連携体制の構築 等	市							3-16	